

# 映像と音楽の感情の調和性が没入感に及ぼす影響

2232027 大城ヒカル

指導教員：山崎治 准教授

## 1.はじめに

近年、映画やテレビドラマのみならず、SNS上の短尺動画や広告など、映像コンテンツの種類は多様化が進み、膨大な量がネット上で流通している。このように映像コンテンツが過剰に供給される状況下において、視聴者の感情に訴えかけ、没入感や臨場感を感じさせる映像づくりが求められる。そのため、映像と音楽の関係性を理解し、感情的影響を意図的に設計することが、映画制作や広告制作など幅広い分野で重要であると考えられる。

先行研究では、映像と音楽が感情的に調和することで、視聴者の感情移入や没入感が高まることが報告されている（[張 浅野, 2024] [岩宮, 2019]）。一方で、覚醒度の高い刺激や短尺映像、さらにジャンル間の比較に着目した検討は十分に行われていない。

## 2.目的

本研究では、映画等の予告編動画をモデルとした短尺動画を用い、映像と音楽の感情的調和性が視聴体験に与える影響を明らかにすることを目的とする。特に、ホラー・アクション・感動という覚醒度が高いと考えられる映像ジャンルにおいて、感情的に調和した音楽条件と調和しない音楽条件を設定し、視聴者の感情評価（感情価値・覚醒度）および没入感への影響を比較検討する。

## 3.実験 映像と音楽の調和性の影響

本実験では、予備実験で得られた知見を基に映像および音響条件を改善した上で、映像と音楽の感情的調和性が視聴者の感情評価および印象評価にどのような影響を与えるかを、異なる映像ジャンルを通して明らかにすることを目的とする。

### 3.1 方法

**実験参加者：**大学生 32 名（男性 19 名／女性 13 名）が個別に実験に参加した。

**実験計画：**本実験は、映像ジャンル（ホラー・感動・アクション）ごとに音楽条件（一致・不一致）を要因とする一要因二水準参加者間計画で実施し、没入感および感情評価への影響を検討した。

**材料：**刺激映像として、ホラー（約 49 秒）・感動（約 48 秒）・アクション（約 48 秒）の 3 ジャンルの予告編動画を使用した。映像および音声の提示には PC 1 台とヘッドホン（SENNHEISER HD 598）を用いた。各映像視聴後にジャンル別アンケートを実施し、全セッション終了後に全体アンケートへの回答を求めた。刺激提示順および音楽条件は参加者間でカウンターバランスした。

**手続き：**実験は、研究内容および倫理的配慮について説明し、参加者の同意を得た上で実施した。参加者は暗室環境下でヘッドホンを装着し、PC 画面上でホラー・感動・アクションの 3 種類の予告編映像をランダムな順序で視聴した。また、各ジャンルの映像について音楽の一致・不一致の条件もランダムに割り当てられた。

各映像視聴後に没入感、感情価値、覚醒度等に関する質問紙に回答させ、全条件の視聴終了後に全体アンケートおよびジャンル別順位づけを行わせた。実験時間は 1 名あたり約 30 分であった。

## 3.2 結果

本実験の結果、映像と音楽の感情的調和性は映像ジャンルによって異なる影響を示した。図 1 にホラー映像における評価の平均値を示す。「感情への影響」以外の評価すべてで有意差が認められた（没入感 :  $t(30)=2.79$ ,  $p=.01$ ,  $d=.99$  / 違和感 :  $t(30)=6.17$ ,  $p=.001$ ,  $d=2.18$  / 調和 :  $t(30)=5.79$ ,  $p=.001$ ,  $d=2.05$  / 興奮 :  $t(30)=2.26$ ,  $p=.03$ ,  $d=.80$  / 快 :  $t(30)=2.57$ ,  $p=.02$ ,  $d=.91$ ）。

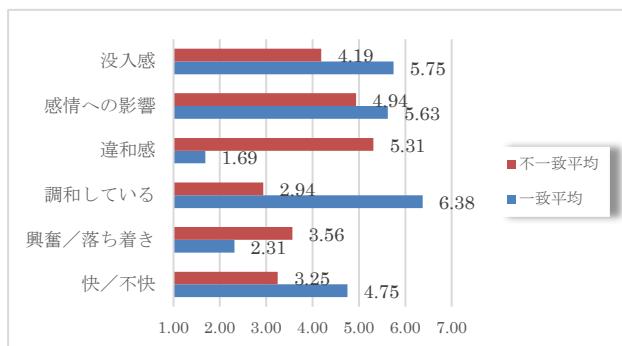


図 1 ホラー映像 一致と不一致の評価平均比較

一方で感動映像では、一致／不一致による差は一部の項目にとどまり、音楽が視聴体験を大きく左右する要因とはならなかった。アクション映像では覚醒度や没入感で差が認められ、調和性が緊張感や迫力の増幅に寄与することが示された。

## 4.まとめ

本研究の結果、映像と音楽の感情的調和性が視聴体験に与える影響は、音楽が映像の情動と一致しているか否かによって大きく変化することが明らかとなつた。

調和条件では映像内容と音楽が感情的に一致することで、没入感、感情喚起、および作品評価が全体的に高まる傾向が示された。一方、不調和条件では違和感が強まり、没入感や評価の低下が生じるなど、視聴が阻害される方向に影響することが確認された。

これらのことから、映像制作においてはジャンルにかかわらず、映像が喚起する感情方向に沿った音響設計が視聴体験を効果的に高める上で重要であると示唆される。

## 参考文献

- 岩宮眞一郎. (2019). 映像メディアに活かす(((音))) のチカラ\*. 日本国音響学会誌, 75(10), pp. 590–597.  
張 馨月・浅野倫子. (2024). 映像と音楽の感情の調和性が没入感に及ぼす影響. 日本認知科学, 31(4), pp. 552–572.